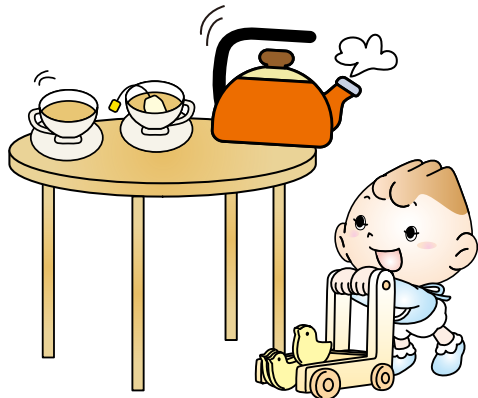


# 10 やけどをした時



- やけどは、0~4歳児に多く、熱湯によるやけどが最も起こりやすいものです。また、使い捨てカイロやぬるい湯たんぽでも長時間あたると、低温やけどになることがあるので注意が必要です。
- やけどは範囲と深さが重要です。やけどの深さは、第1度~第3度に分類されています。

第1度	皮膚の表面が赤くなっている時で、水ぶくれにはならない程度
第2度	水ぶくれ（水疱）ができておりような場合
第3度	皮下組織まで達するやけどで、皮が黒く焦げたり、白くなっているような場合。



## ADVICE

### ◆家庭で対処すること

- まず、流水で10分以上冷やすこと。（第1度、第2度）  
（服を脱がせづらいときは服の上からでも大丈夫です。）
- 水ぶくれは破らないようにして清潔を保つこと。

### ◆注意すること

- 油やアロエを塗ったり民間療法をしたりせずに、すぐに受診しましょう。
- 低温やけどにも注意が必要です。
- 乳幼児の場合は、スイッチを入れたままのホットカーペットやカイロなどでも低温やけどになることがあります。

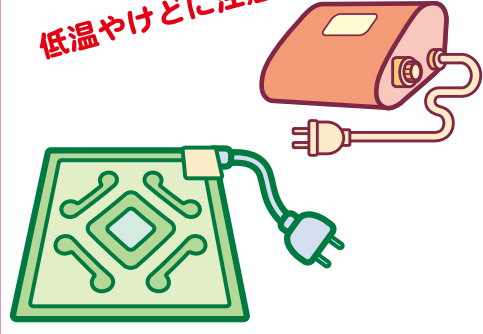
まずは流水で冷やす!!



### 通常の診療時間内に受診しましょう

- 赤いだけで水疱ができない
- 範囲が狭い第1度程度のやけどの時

低温やけどに注意!!



### 早めに救急外来を受診した方がいい時

- 皮下組織まで達するやけどの時（第3度）
- やけどの範囲が大人の手のひらより広い時

## ここが知りたいQ&A

**Q.** 水ぶくれは、なぜ破らないほうがよいのですか？

**A.** 水疱の中は無菌状態ですが、水疱を破るとそこから菌が入って化膿するおそれがあります。感染防止のために範囲が広がらない時はそのままにします。水疱を破った時は消毒をして清潔にしておくことが大切です。

**Q.** どのように冷やしたらよいのでしょうか？

**A.** 「手足のとき」は、出しっぱなしの水道水で冷やして下さい。患部に直接、勢いよく水をかけると水泡を破ってしまうことがあったり、冷たすぎて長時間冷やせないのので、洗面器に受けるなど、水の勢いを弱めて冷やして下さい。

「顔・頭のとき」は、シャワーの水や濡れタオルで冷やして下さい。鼻や口のそばで、呼吸しづらい場所の時は、こまめに冷えたタオルを取り替えながら冷やして下さい。

「全身・広範囲のとき」は、衣服を脱がさずに冷やして下さい。衣服を脱がせる時に皮膚がはがれてしまうことがあるので、衣服の上から水のシャワーをかけて下さい。濡れたバスタオルで包み、その上に毛布をかけてくるみ急いで病院へ行って下さい。